



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：エジプト・イラン関係

(4月22日付現地各紙)

22日付現地各紙は、ヒズブッラー系グループ逮捕と関連したエジプト政府によるイラン批判に関して報じている。概要は以下の通り。

1. エジプト外務省は、フセイン・ラジャビ在エジプト・イラン利益代表部代表に対し、イラン政府によるヒズブッラー系グループ逮捕に関する声明に対して抗議する内容の文書を送付し、この抗議文をイラン政府に伝達するよう要求した。
2. ゾルカーニー・エジプト外務省アジア担当次官発言
  - (1) エジプトは、今回のエジプトにおけるヒズブッラー系グループ逮捕に関するイラン政府、議会の声明及びイラン国内の報道に対し激しく抗議する。イラン政府による声明は、エジプト内政への明白な内政干渉である。
  - (2) エジプトは、エジプト国益の侵害と、国内治安の不安定化を目的としたあらゆる陰謀を拒否する。我々は、イランによる敵対的な声明に黙っていない。

【補足情報】

エジプトとイラン関係 (2007年5月～2009年4月)

- 2007-05-15 イランのアフマディネジャド大統領はエジプトとの関係強化に向け、エジプトに大使館を開く準備ができていると述べた。
- 2007-05-18 エジプトのアブゲイト外相は、イランがサダト暗殺者の名前をつけた通りの問題を解決すれば、エジプトーイラン関係の問題の9割は解決したことになると述べた。
- 2007-06-26 ムバーラク大統領は、イランやシリアが、ガザでの内部抗争に関与した証拠はないと述べた。ムバーラク大統領は、エジプトは常にイランと接触していると述べた。
- 2007-09-18 エジプトとイランは、ハイレベルの会談を催し、1979年のイラン革命以来断絶している両国の関係正常化に向けた対話を継続していくとした。またエジプト人外交官は匿名で、イラン政府はエジプトに核計画の支援を求めたことを明ら

かにした。エジプト・イラン関係は 2003 年に一度改善の兆しが見られたが、サダト大統領を殺害したハーリド・イスランプーリの名前をつけたイランの通りの名前の改称を巡り中断している。

- 2008-01-22 イランのアフマディネジャド大統領は、エジプトのムバーラク大統領と電話会談してガザ情勢について協議した。79 年の国交断行後、大統領同士の間接会談は初めて。
- 2008-01-27 イラン外務省のアラブ担当局長 Ali Asghar Mohammadi がエジプトを訪問、アブゲイト外相と会談した。イラン側は、ガザ境界の壁爆破について支援する用意があることを表明したとされた。
- 2008-01-30 イラン政府高官 Gholam Ali Haddad-Adel は、エジプトを訪問し、ムバーラク大統領らと会談した。
- 2008-07-24 エジプト当局は、イランが作成したサダト元大統領の暗殺に関する映画「ファラオの暗殺」に対する対抗処置として、カイロにあるイランの報道機関アル・アールムの事務所を閉鎖した。エジプト当局は、アル・アールムは無許可で活動していたとした。アル・アールムの会長は、放送局は映画とは無関係であると述べた。
- 2008-08-16 ムバーラク大統領の報道官スレイマーン・アワドは、イランの核開発について、イランは核開発を進める権利はあるが、同時に、もっと世界に対して安全を確信させる必要があると述べた。
- 2008-10-21 エジプトを訪問したイランのマランディー元保健相は、アブゲイト外相と会談。
- 2008-12-09 エジプトは、在テヘラン・エジプト代表部前でエジプトによるラファハ通行所の閉鎖に抗議するデモが行われたことを受け、同代表部の臨時代理大使をエジプトに帰国させた。デモは、エジプトの行為がイスラエルに協力するものであることに反発して行われたとされた。
- 2009-01-28 エジプトのアブゲイト外相は、衛星放送のインタビューに応じ、イラン、ハマス及びヒズブッラーが西側による核開発に係る圧力から逃れるため、イランの利益のために中東地域に紛争を再燃させようとしていると述べた。
- 2009-02-04 エジプトのムバーラク大統領は、警察学校での演説で、ハマスを非難した。ムバーラクは、停戦継続に反対し、エジプトの忠告を聞かずイスラエル軍のガザ攻撃を招いたとハマスを批判した。またハマスは、イランのアジェンダに貢献していると批判。
- 2009-04-14 ロンドン発行アル・シャルク・アル・アウサト紙は、エジプトのアブゲイト外相のインタビュー記事を掲載した。同外相は、本件について、イランとその支持者が中東地域への介入の際にエジプトを「イラン王女のメイド」にしようとしていると発言、イランを非難するとともに、エジプトが主権国家であることを強調した。

- 2009-04-14 エジプトのアブゲイト外相は、イランがレナのヒズブッラーを使ってエジプト内で存在感を示そうとしたと非難。エジプト当局は、25 人を逮捕、24 人を追跡中と報道された。ヒズブッラーのナスラッラー書記長が、ヒズブッラーのメンバーだと認めたサーミー・シハーブについて、エジプトのマディアはさまざまな報道をしているが混乱しているとされた。
- 2009-04-16 エジプト紙によれば、アブゲイト外相は、エジプト政府が同政府の許可を得ず行われる同国内でのいかなる活動も許可しないと述べた。また、同外相は、エジプト・イラン関係が冷却しており、イランはエジプトに対する立場を改めなければならない、イランの立場はエジプトを中傷しているだけでなく、イラン自身を不利な立場においているとも述べた。
- 2009-04-21 エジプト外務省は、イラン利益代表部の Mohammed Rajabi 代表を召還し、ヒズブッラー系組織摘発問題で、エジプトがレバノンの選挙に影響を与えるためにやっていることについて、イランが批判したことについて、エジプトは同種の批判を拒否すると伝えた。